

総 説 (平成23年度横浜市立大学医学研究奨励賞受賞研究)

同所性頭頸部癌モデルを用いた 頭頸部癌頸部リンパ節転移の機序の解明

佐 野 大 佑

横浜市立大学大学院医学研究科 頭頸部生体機能・病態医科学

要 旨：頭頸部癌は予後不良であるが、その大きな原因の一つは頭頸部癌が高頻度に転移病変を有し、転移病変の制御が困難なため治療成績が改善しないことである。特に頭頸部癌の頸部リンパ節転移の有無は治療成績を大きく左右するため、頭頸部癌頸部リンパ節転移のメカニズムを解明することは、頭頸部癌患者の予後改善に直結すると考える。

近年癌細胞が発生した臓器の組織へ移植する同所性担癌モデルという、癌の浸潤・転移パターンを反映した動物モデルが開発されている。同所性頭頸部癌モデルは頭頸部癌の頸部リンパ節転移を再現し、検討できる数少ないモデルである。本総説では頭頸部癌研究における同所性頭頸部癌モデルの有用性について述べるとともに、頭頸部癌のおよそ半数で報告されており、頭頸部癌の進展に深く関与していると考えられている *TP53* 変異の、頭頸部癌における腫瘍増殖能、並びに頸部リンパ節転移能への関与について同モデルを用いて検討したので一緒に述べたい。

Key words: 頭頸部癌, 頸部リンパ節転移, 同所性頭頸部癌モデル, *TP53* 変異